

2022 7/26

No.2167

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経かながわ

一般社団法人  
—神奈川政経懇話会—



高校野球の全国選手権神奈川大会が9日、横浜スタジアムで開幕。各校2人が参加して3年ぶりに開会式が行われ、プラスバンド応援も復活した。



## contents

### 視点点描

戦後の節目で変わる風景

3

デモクラシーの現場から

4

安倍元首相不在、岸田首相の政権運営に影

### 政治

憲法の改正、実行の段階視野に  
参院選結果の歴史的意義

6

### 政治

「誌上座談会」 夏の霞が関人事  
財務省は本命登板、厚労省は刷新  
ルール重視、能力本位の起用も

10

### 企業最前線

捨てられていたものに付加価値  
広がり見せるアップサイクル

14

### くらし2022

「小柄」も個性 背が低くても問題なし

16

### 神奈川景気データファイル

18

### 事務局だより

◇2022年8月の定例講演会  
8月25日（木）午後1時30分  
～3時

崎陽軒本店 4F 「ダイナス  
ティー」

講師：横浜銀行頭取 片岡  
達也氏

演題：「地域金融機関として  
の役割」（仮題）

※講演会は、新型コロナの感  
染拡大の状況等の関係で中  
止・延期する場合がありま  
す。

【お知らせ】神奈川政経懇話会では、会報「政経かながわ」に会員コーナーを設け、新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報をお届けしています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045 (226) 2121。

# 視点



## 戦後の節目で変わる風景

夏の風物詩が戻ってきた。カメラを手に声を弾ませる家族連れ、そろいの浴衣を着て手をつなぐカップル。豪華な竹飾りで彩られたまちの光景は、久しぶりに笑顔の輪を広げてくれた。平塚の七夕まつりが、2年越しで第70回の開催にこぎ着けた。中心会場の商店街で生まれ育つだけに、節目の開催は感慨深い。

激動の時代。価値観の変化と

今回は新型コロナ対策で規模を縮小し、露天営業を認めず、来訪自粛を呼びかけるなど異例ぞくめだつたが、地元ではそれなりに好評だった。食べ歩きによるポイ捨てや交通規制が大幅に減り、出店の代わりに飲食店がにぎわった。日常と非日常が共存する新しいカタチが見えたような気がする。

岸田文雄首相の政権基盤は強まるものの、今後は政策ごとに賛否の境界線が違つてくる。国会審議の範囲がこれまで以上に複雑になり、野党再編も一気に現実味を増すかも

もに形をえるのは、祭事や生活様式だけではない。最終盤に衝撃的な事件が待ち受けていた参院選もまた、この先の政治の風景を一変させる契機となりそうだ。

自民党が圧勝し立憲民主党が敗北した選挙結果は、一見すると從来と同じように映る。しかし「一強多弱」の構図がより鮮明になり、政権交代可能な二大政党制の実現は一段と遠のいた。

また、日本維新の会が議席を倍増させ新勢力が存在感を増した傾向は、いまだに保守・革新で色分けする政治へのアレルギーと既存政党に対する不信感が増幅する兆しだったが、地元ではそれなりに好評だった。食べ歩きによるポイ捨てをして刻まれた。根幹から打ち砕かれた民主主義を取り戻すには、良識ある民意で政治を前に進めるしかない。戦後復興の象徴とされた平塚の七夕まつりが、市民の手で成熟したようだ。

何よりも、安倍晋三元首相が凶

右派のリーダー的存在で自民党最大派閥のトップが死去したことでも、憲法改正や防衛予算増額といった保守的な政策の行方は見通せなくなり、党内の勢力図も大きく変わ

るだろう。

足元の神奈川でも、自民と立民

でくつきり明暗が分かれた。来春には統一地方選を控えており、多

様な地域課題に直面する地方政治のあり方も変わつてくるはずだ。

貴族院の廃止から75年の節目に行われた参院選は、日本の黒歴史として刻まれた。根幹から打ち砕かれた民主主義を取り戻すには、良識ある民意で政治を前に進めるしかない。戦後復興の象徴とされた平塚の七夕まつりが、市民の手で成熟したようだ。

(神奈川新聞社報道部長

香川 直幹)